

**太陽光発電電力をマンション内ですべて消費する新しいシステムを開発  
分譲マンション〈ジオ〉の「ジオ神戸三宮」で初導入します**

阪急阪神不動産株式会社（本社：大阪市北区、社長：諸富隆一）は、分譲マンション〈ジオ〉として初めて、太陽光発電システムによって発電した電力（以下、「太陽光発電電力」）を、専有部の電気使用量から差し引き、各住戸の電気料金を低減する新しいシステムを導入します。「ジオ神戸三宮」において本システムを導入し、「太陽光発電電力」を無駄なく利用し、環境と家計にやさしい暮らしをご提案します。

これまで、新築分譲マンションの専有部で「太陽光発電電力」を消費するには、パワーコンディショナーなどの設備を各住戸で用意する必要があり、コスト面および維持管理面に課題があったため、共用部のみでの消費が一般的でした。また、多くの太陽光パネルを設置しても、共用部だけでは「太陽光発電電力」を消費しきれないという課題がありました。

そこで、関西電力グループのNext Power 株式会社の高圧一括受電サービスを採用し、「太陽光発電電力」を同社が計量し、これを専有部（各住戸）の電気使用量から差し引くことで、入居者の電気料金の低減を可能としました。



■具体的な内容

	従来の分譲マンション	本スキームを導入した分譲マンション
活用面	太陽光発電電力は、共用部のみでの消費が一般的。	専有部（各住戸）での消費を実現。
コスト面	各住戸で太陽光発電電力を消費する場合、パワーコンディショナーなどの設備を各住戸で用意する必要があり、維持管理や機器更新等の費用が発生する。	パワーコンディショナーなどの設備を用意する必要がないため、各住戸の負担が少ない。
光熱費	共用部のみでの消費に限られるため、各住戸の電気料金は低減されない。	太陽光発電電力を計量し各住戸の電気使用量から差し引くことで、各住戸の電気料金の低減を実現。

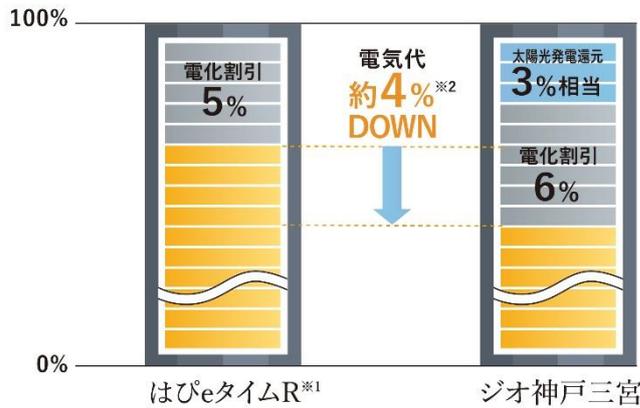
阪急阪神ホールディングスグループでは、2020年5月に発表したサステナビリティ宣言のもと、SDGsへの取組を強化しています。当社は今後も、脱炭素社会の構築のため、カーボンニュートラルの実現に向けて、取り組んでまいります。

以上

## ■太陽光発電電力に関するイメージ図



専有部の光熱費イメージ



※1関西電力オール電化プラン「はびeタイムR」リビングタイムの電気使用量より差し引きます。差し引く量は各住戸の面積按分によります。「はびeタイムR」については「関西電力ホームページ」よりご確認ください。  
 ※2還元率及び割引率は、燃料費調整額・再生可能エネルギー発電促進賦課金を含みません。実際の還元率は、電気のご使用状況や燃料費調整額・原料費調整額により変動します。最新の燃料費調整額については「関西電力ホームページ」よりご確認ください。

## ■「ジオ神戸三宮」の概要

所在地	神戸市中央区中山手通2丁目3番46の一部(地番)
交通	神戸市営地下鉄「三宮」駅徒歩4分
構造・階数	鉄筋コンクリート造、地上15階建
総戸数	69戸
敷地面積	937.07㎡
間取り・住戸専有面積	1LDK～3LDK、52.56㎡～78.11㎡
竣工時期・入居時期	2026年1月下旬竣工(予定)・2026年2月上旬入居(予定)
売主	阪急阪神不動産株式会社
分譲後の権利形態	土地：専有面積割合による定期借地権(転借地権)の準共有 建物：専有部分は区分所有権、共有部分は専有面積割合による所有権の共有
施工	株式会社森組
販売開始予定時期	2024年3月予定
物件HP	<a href="https://geo.8984.jp/mansion/sannomiya/">https://geo.8984.jp/mansion/sannomiya/</a>

※「ジオ草津」「ジオ阪神芦屋」「ジオ高槻天神」において「太陽光発電電力」を売電し、専有部(各住戸)に還元する取組も進めています。



阪急阪神ホールディングスグループは、持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。